

やまなか

山中農地保全組合（福井県高浜町）

集落住民と力を合わせた獣害対策と住み続けられる集落への取組

協定面積: 田 7.8ha(急傾斜6.5ha)

協定参加者: 農業者19名 協定開始: 平成12年度

地域の概要・経緯

- 本集落協定地区は、高浜町中心部から北西約8 km、京都府舞鶴市に接する内浦地区に位置しており、その姿が富士山と似ていることから「若狭富士」と呼ばれる青葉山山麓に46世帯98人が暮らす。
- 農業者の高齢化や減少による獣害被害に対応するため、住民ひとりひとりが爆竹や花火を使ったサルの追払い方を習得するなど地域住民と協定参加者の連携した活動が成果をあげる。
- 協定参加者の一部有志が青葉山麓で栽培している「うちうらレモン」の農場周辺の草刈りや樹木の剪定、肥料やりを支援しており、レモンはJR若狭高浜駅構内直売所での販売や料理教室へも出荷。



【ロケット花火と爆竹】



【うちうらレモン】

取組の概要

- 平成12年度から本制度により協定参加全世帯で集まり、水路や農道周辺の草刈や清掃を行うとともに、本制度を活用してイノシシ防護柵を設置するなど獣害対策に取り組む。
- 特にサルによる農作物への被害の増加に対応するため、協定参加者以外の住民も連携して花火や爆竹の使用法や追払いの基本知識を学ぶ研修会を行い、サルの出没に即応できる効果的な追払いの仕組みを構築し、獣害被害を削減。
- 従来からの集落の「寄合」や地域の祭りなども活用し、住民が多く集まる場をとことん使いながらサルの追払いの研修会をPRし、獣害対策は集落全体で取り組む課題であることを全住民で共有し、集落全体で安心・安全な集落づくりを実践し、集落に住み続ける若者が出てくることを期待。



【花火の打ち方を学ぶ研修会】



【集落の寄合】

